

令和4年度 政務活動費 先進都市調査報告書

会派名	市政結和
議員名	金濱元一・我妻静夫・岡田健一・早川昇三・南川達彦・鈴木和彦
調査実施年月日	令和4年11月8日
調査先 自治体名等	山形県遊佐町
調査項目	少年議会について
調査目的	少年議会と主権者教育について
報告内容 実施したこと	<p>1 視察先(市町村)の概要 人口:13,396人 行政面積:208.39km²</p> <p>2 視察内容 遊佐町では、少年議会の取り組みについて調査を行った。</p> <p>遊佐町の少年議会の取り組みは、2003年に始まり、今年度で20期を迎えています。青少年議会の取り組みは、全国でもあるが、遊佐町の事業の特徴として、生徒自ら参加する完全立候補制であること、立候補多数の場合に中学校と高等学校全員で選挙に参加することとなっている。</p> <p>少年議会開催までの準備は、町職員からプロジェクトメンバーを募集し、各学校を訪問し、事業説明と立候補募集を行う。定員を超えて、選挙となる場合は選挙公報作成もおこなう。</p> <p>少年議会の募集定員は町長1名、少年議員10名、完全立候補のため、定員に満たない場合でも事業は実施する。6月中旬から当選した少年町長と少年議員は活動を開始し、年3回の少年議会を行う。第1回は所信表明、第2回は政策提言から活動内容を決定、第3回は活動報告を行う。</p> <p>これまで実現してきた主な政策としては、イメージキャラクター作成、JR増便や街灯の設置を求める要望書・陳情書の提出、被災地支援ボランティア実施、地域オリジナルかるたの制作などがありました。また、当初政策として提言された町議会議員との意見交換会は、現在は定例的に開催され、議員との連携も図られている。</p> <p>また、事業目的達成のための工夫として、大人が言うと正しいように感じてしまうためアドバイス提案は事務局から行わないこと、部活動テスト期間は活動しないこと、管内の学校に少年議会担当の先生を配置し事業への協力体制を作っていること、選挙の際に同時に学生からどのような街にしてほしいかなどについてのアンケートをとることなどが挙げられていた。</p> <p>予算としては、一般会計として100万円弱を計上し、そのうち約45万円を提案した事業構築に構築することとしている。45万円は、少年議会と委託契約を結び拠出し、事業実施ごとに少年議会です予算執行するという形をとっている。</p> <p>事業効果として、事業に参加した子どもたちが町に関心を持つようになった、自信と責任が生まれた、地域のリーダーが生まれていることなどが挙げられた。また、事業の更なる周知と立候補者の確保について課題になっているとのことであった。</p>
感想(まとめ) 本市へ生かせること 等	本市においても、本年度、中学生を対象に子ども議会を開催したところですが、子どもたちが意見を提言するところまでにとどまり、事業実施までには至っていません。遊佐町の事業のように事業実施まで予算を組み、その執行までこど

	<p>もたちに任せることで、子どもたちの主体性と達成感をより高めることができ、地域への愛着と誇りを醸成することができると思います。また、選挙として中学校と高校全体に関わってもらうことで、若年世帯の主権者意識の高揚と、投票行動への契機となる効果も得られると思います。本市においても記念事業としての実施を契機として、事業の更なる展開を行うべきであり、議会としても実施主体として協力体制を構築するべきと思います。</p>
--	---